

授業概要

本講では、企業の環境問題を環境会計の視点から講義をします。環境会計とは企業の環境保全に対する投資や費用とその効果を貨幣と物量単位で測定する手法です。講義は3部構成になります。第1部は環境会計の理論を文化的側面等から講義します。第2部では環境省の環境会計ガイドラインを講義します。そして第3部では実際の企業が公表する「CSR 報告書」や「環境・社会報告書」、「統合報告書」等についてその構成内容を講義します。授業後半 20 分程度は知識の確認として小テストを実施します。

授業計画

第 1 回	環境会計の理論①	環境会計の概要：社会関連会計、CSR 会計、統合報告書への変遷	
第 2 回	環境会計の理論②	環境会計と環境倫理・風土	
第 3 回	環境会計の理論③	環境会計と文化論	
第 4 回	環境会計の理論④	環境会計と生物多様性	
第 5 回	環境会計の理論⑤	環境会計と宗教的自然観	
第 6 回	環境会計の理論⑥	環境会計の規範原理形成	
第 7 回	環境省「環境会計ガイドライン 2005 年版」の概要		
第 8 回	環境会計の基本事項 1. 定義付け、内部・外部機能、一般的要件、3つの構成要素		
第 9 回	環境会計の基本事項 2. 環境保全コスト（環境投資・環境費用）、その分類、集計方法		
第 10 回	環境会計の基本事項 3. 環境保全効果（物量効果）と経済的效果（実質効果・推定効果）		
第 11 回	環境会計の基本事項 4. 環境会計情報の開示、環境効率、環境負荷集約度分析の指標		
第 12 回	環境会計の事例研究 ①	トヨタ自動車の環境会計情報	スマートフォンで 検索します
第 13 回	環境会計の事例研究 ②	宝酒造の環境会計情報（緑字企業報告書）	
第 14 回	環境会計の事例研究 ③	九州電力の環境会計情報	
第 15 回	環境会計の事例研究 ④	富士通グループの環境会計情報	
第 16 回	定期試験		

到達目標

企業の環境会計情報などが理解できること。

履修上の注意

- ① 1 年次に「初級簿記」を履修した学生は理解し易いので受講をお勧めします。
- ② 授業で環境省や企業の環境レポート等を検索しますのでスマートフォンをご準備ください。
- ③ 「ECO 検定」（環境社会検定試験）の資格取得をお勧めします。この検定試験の合格率は 70% くらいです。この検定合格者は、「エコピープル」として就職の履歴書や名刺、ブログにも記載できます。最近の企業では ISO14001 の内部監査員認定の判断基準にする会社もあります。
eco 検定ホームページ→(<http://www.kentei.org/eco/>) 参照のこと。
- ④ 遅刻は交通機関の遅延のみ認めます。

予習・復習

授業前には必ず板書ノートと配布資料の見直しをしてください。

評価方法

- 1. 小テスト 50%、定期試験 50%で評価する。
- 2. 授業態度不良者は「不可」とする。

テキスト

テキストは、配布資料とする。
環境省『環境会計ガイドライン 2005 年版』
各社の「環境社会報告書」、「CSR 報告書」、「統合報告書」等を予定。